レビュー待ち、アルファロメオ最小クロスオーバーSUV「カマル」、2020年にも発売か!?

アルファロメオは、「ステルヴィオ」に続くクロスオーバーSUV第二弾、「Kamal」（カマル）の発売を、2020年にも計画していることが分かりました。

「カマル」は、2003年のジュネーブモーターショーでコンセプトモデルとして公開されており、2016年には「Kamal」の商標登録が完了したと見られています。

「ジュリア」や「ステルヴィオ」から流用される「ジョルジオ」プラットフォームを採用し、フロントエンドもこの2台の意匠を継承するものとなるようです。

また、スタイリングも「ステルヴィオ」同様に、クーペSUVになるとレポートされています。

パワートレインは最高出力250psを発揮する1.8リットル直列4気筒DOHCエンジンの搭載が予想されています。

「ステルヴィオ」は、日本での発売価格がエントリーモデルで600万円から700万円と予想されており、爆発的に売れる価格帯ではなく、日本で人気の高い400万円から500万円のコンパクトSUVを是非ラインナップしたいところです。

プレミアムコンパクトSUV市場は、国産ではレクサス「NX」を始め、メルセデスベンツ「GLA」やBMW「X1」、ボルボの参入も迫っている激アツ市場ですが、新規参入の「カマル」がどこまで迫れるか注目したいと思います。